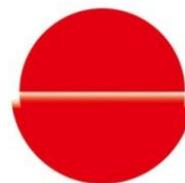


# Niigata Award News

(食の新潟国際賞財団通信)



Niigata Award

2017/9/14 第27号

## 第5回食の新潟国際賞応募が始まりました。



### 正賞「シュプリングン」

正賞として授与されるモニュメントは、文化庁長官(前東京藝術大学学長)宮田亮平氏によって制作されました。(第1回～第4回)

第5回食の新潟国際賞の募集要項が決定し、募集が開始されました。

今回は第4回に引き続き本賞、佐野藤三郎特別賞、21世紀希望賞の3部門で募集しており、**応募の締め切りは平成29年12月25日(月)必着**となっています。

是非多くの方からの応募と推薦がされますよう皆様の御協力とご紹介そして応募をお待ちいたしております。詳しくは下記サイトを御覧ください。

ホームページアドレス(第5回推薦要項のページ)

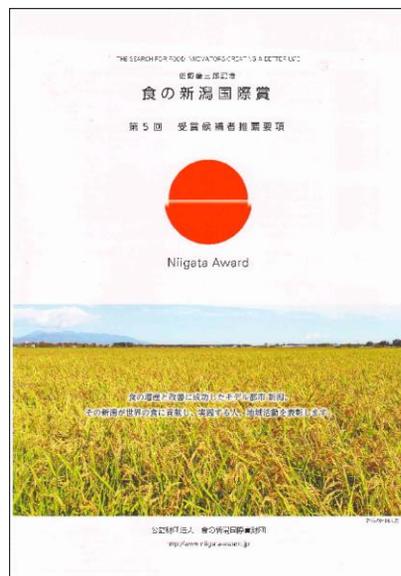
<http://www.niigata-award.jp/contents/award/application.html>

### 「食の新潟国際賞」創設趣旨

「食の新潟国際賞」は食の分野で世界に貢献し、実践している人、団体、地域に光をあて表彰することにより、世界の食の問題の解決に寄与することを願って日本の地方都市新潟の産官学民の有志が協力して創設した食分野において日本唯一の国際賞です。

## 第5期選考委員のご紹介 (50音順)

職名	氏名	所属・職名
委員長	唐木 英明	(公財)食の安全・安心財団理事長 東京大学 名誉教授
委員	赤阪 清隆	(公財)フォーリンプレスセンター理事長
委員	石井 勇人	(一社)共同通信社 編集委員兼論説委員 日本農政ジャーナリストの会 会長
委員	今野 正義	日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO
委員	ゲーリ マイヤー	駐日米国大使館 農務担当公使
委員	生源寺 真一	福島大学農業系教育研究組織 設置準備事務室 室長 / 教授
委員	西澤 直子	石川県立大学生物資源工学研究所 教授 東京大学 名誉教授
委員	引野 肇	日本科学技術ジャーナリスト会議 理事



## 第5回食の新潟国際賞 受賞候補者推薦要項(一部抜粋)

### 食の増産と改善に成功したモデル都市 新潟

その新潟が世界の食に貢献し、実践する人、地域活動を表彰します。

第5回目となる食の新潟国際賞の推薦が開始されます。

平成29年9月から同年12月25日(金)迄の期間、日本及び世界のノミネーターに候補者の推薦や自薦をお願いし、「大賞」(賞状、記念工芸品、副賞1,000万円)を原則1件、「佐野藤三郎特別賞」(賞状、記念工芸品、副賞200万円)を原則1件、「21世紀希望賞」(賞状・記念工芸品、副賞100万円)原則2件を表彰するものです。

選定は選考委員会(委員長 唐木英明氏 (公財)食の安全・安心財団理事長・東京大学名誉教授)が受賞候補者を選定し理事会において最終決定されます。

この国際賞は2年に1回顕彰する事業であり、第5回表彰式並びに受賞者記念講演会など表彰事業は平成30(2018)年11月に開催される予定です。



#### 【選考基準】

- (1) 世界的、地域的、個別的な取り組みや活動であり、斬新で独創性のある業績であるもの。
- (2) 学術的価値そのものを賞賛する賞でなく、新たな発見や開発などの活動が長期で持続型の取り組みであり、人々の生活の向上に寄与し、世界へ強い影響力があるもの
- (3) 実績・知名度が低くとも将来性が期待できるもの。

## 第5回食の新潟国際賞について

### 【各賞について】

#### 1. 大賞(グランプリ) 原則1件 賞状、記念工芸品、副賞1,000万円

(受賞者が複数にわたる場合は副賞を分配します)

・対象分野: ①生産と供給 ②食と健康 ③食と教育での研究、活動

・主な事例:

- ① 食品加工(食品加工、発明・考案・食料の保存・加工技術)
- ② 食料増産(新しい育種技術・栽培技術、土地改良、灌漑、治水)
- ③ 流通システム(輸送システムの開発、食料の流通)
- ④ 食品の安全と食の向上(栄養・食品関連病気などの克服)
- ⑤ 食品機能による健康増進(食品の健康機能、病気予防の疫学調査)
- ⑥ 食品ロス・食料廃棄問題の対策・活動(もったいない精神・市民運動)
- ⑦ 食・農教育(食や農業の教育モデル、食育活動・食文化・伝統食の普及)
- ⑧ 食分野での国際協力・支援(NGOによる諸活動)
- ⑨ 持続的な食料の保全と確保(養殖技術・自然・環境保護・水産資源保護)

#### 2. 佐野藤三郎特別賞 原則1件 賞状、記念工芸品、副賞200万円

・対象分野

- ① 世界の食料増産・安定供給の為に生産・栽培技術の開発や生産基盤の確立に寄与している研究や活動。
- ② 世界各国・地域で持続可能な農業を中心とする自立的な地域モデルとなる研究や活動。
- ③ 食分野における国際協力や支援活動。

#### 3. 21世紀希望賞 原則2件 賞状、記念工芸品、副賞100万円

・対象分野

- ① (1)食の新潟国際大賞と同じ。

但し、将来の世界貢献への可能性と実現性をめざした個人や企業及び団体との共同研究、共同開発、実用化試験、実践活動などであり、現時点で十分な成果が得られなくても、今後の発展が十分に期待できるものも対象にします。

- ② 45歳以下の研究者や活動家を対象。

※尚、各賞とも選考の結果、該当者なしの場合もあります。

詳しくは  
財団ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス(第5回推薦要項のページ)  
<http://www.niigata-award.jp/contents/award/application.html>

# ● 食の新潟国際賞受賞者紹介(各受賞者の職名は受賞当時のものです)



## 第1回受賞者(2010年10月)

- ・ **本賞：モンティ・パトリック・ジョーンズ 氏**  
(アフリカ農業研究フォーラム 事務局長)  
アフリカ地域に適応するネリカ米を開発。飢餓と貧困に挑む。
- ・ **佐野藤三郎特別賞：袁 隆平 氏**  
(中国国家雑交水稻作業 技術センター 主任)  
「ハイブリッド米の父」として尊敬を集める。新たな食料増産計画を主導。
- ・ **21世紀希望賞：藤森 文啓 氏**  
(東京家政大学家政学部環境教育学科 准教授)  
キノコ遺伝子のデータベースを構築。食料・健康の課題に大きな可能性。



## 第2回受賞者(2012年10月)

- ・ **本賞：ジョゼット・シーラン 氏**  
(世界経済フォーラム副議長・国連WFP 前事務局長)  
5年間WFPの事務局長を務め、在任中、職員とともに飢餓撲滅のために75ヶ国・10億5百万人の人々の食糧援助を行い、人道的食糧支援の必要性を世界に認知させた。
- ・ **佐野藤三郎特別賞：梅林 正直 氏**  
(三重大学名誉教授)  
ケシ栽培で名高いタイ北部山岳地帯「黄金の三角地帯」において、個人で果樹植樹ボランティア活動を行い、献身的に農業国際協力に取り組み、この地域住民の自立を支援し、ケシ栽培からの脱却の推進と持続的な農業による地域モデルの構築を行った。また世界的には麻薬の生産を減らしたとして注目される。
- ・ **21世紀希望賞：ンネメカ・C・イケグオヌ 氏**  
(スモールホルダーズ財団 事務局長)  
小規模農民の為の地域FM放送局を開局し、ラジオを通じてナイジェリアの25万人の農民向けに環境保護や持続可能な農業、マーケット情報などを提供するとともに「スモールホルダーズ財団」を設立し、小規模農民の製品の生産性と生活向上と貧困者の減少にも寄与した。



## 第3回受賞者(2014年10月)

- ・ **本賞：坪井 達史 氏**  
(ウガンダ国立作物資源調査研究所 JICA稲作上級技術アドバイザー)  
30年間に渡って開発途上国の稲作技術の指導に携わり、アフリカにおける稲作(ネリカ米)の世界的な第一人者として技術開発と試験研究や普及を実践した。
- ・ **佐野藤三郎特別賞：C.Lラクシュミパティ・ゴウダ 氏**  
(国際半乾燥熱帯作物研究所(ICRISAT) 副所長)  
ヒヨコマメの改良品種を開発。高収穫品種が開発され、多くの農家の収入向上や国家のGDPに貢献。
- ・ **21世紀希望賞：中井 博之 氏**  
(新潟大学大学院 自然科学研究科 助教)  
人の健康保持増進に有益な機能性オリゴ糖の低コスト汎用製造技術の開発に成功。

# ● 食の新潟国際賞受賞者紹介(各受賞者の職名は受賞当時のものです)

## 第4回受賞者(2016年11月)

### ・ 本賞：岩永 勝 氏

(国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター(JIRCAS)理事長)  
生物資源の保存活用研究で多大な業績を上げ、海外国際農業機関で30年近く活躍し、国際トウモロコシ・コムギ改良センター(CIMMYT・メキシコ)所長としての実績も国際的に高い評価を受けている。

### ・ 佐野藤三郎特別賞：増本 隆夫 氏

(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
農村工学研究部門 地域資源工学研究領域 領域長)  
低平地帯の排水改良、排水問題を研究し、排水施設の最適規模研究などにより洪水防止機能評価法の開発に高度な研究業績を残した。

### ・ 佐野藤三郎特別賞：マーシー・ニコル・ワイルダー 氏

(国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター  
水産領域 主任研究員)  
稚エビの培養方法で多大な成果を上げ、屋内型エビ生産システムの開発と普及による安全安心な養殖を実現した。

### ・ 21世紀希望賞：宇賀 優作 氏

(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
次世代作物開発研究センター 基盤研究領域  
育種素材開発ユニット 上級研究員)  
イネの根の構造と機能に関する遺伝育種学的研究に多くの成果をあげ、栽培稲の耐干性の向上に大きく貢献している。



より広く、より多くの国内外に国際賞をアピールするために

「食の新潟国際賞親善大使」を任命しました

国際賞も2018年11月に第5回目の表彰式を開催することになり、財団では食の新潟国際賞について国内外への広報を積極的に行い、より多くの皆様から知っていただくため、「食の新潟国際賞親善大使」制度を創設し国際賞の広報・普及についてご協力を頂くことになりました。

初代の「親善大使」にはこれまで国際賞に対し多大なご理解とご協力をいただいております「歴代選考委員」や「国際賞受賞者」の皆様に御委嘱しております。

親善大使には、食の新潟国際賞の普及・PR活動のため、新潟国際賞財団発行の各種広報・PRパンフレットなどへの御寄稿や国際賞表彰式関係事業への御出席など幅広い活動と広報活動を期待しております。

(※右の名簿は現在委嘱した親善大使の方々です)

氏名	所属
藤森 文啓	東京家政大学家政学部 環境教育学科生物工学研究室 教授
梅林 正直	三重大学名誉教授
坪井 達史	ウガンダ国立作物資源調査研究所
中井 博之	新潟大学農学部応用生物化学科准教授
岩永 勝	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター(JIRCAS)理事長
増本 隆夫	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構(NARO) 農村工学研究部門 地域資源工学研究領域 領域長
マーシー・ニコル・ワイルダー	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター(JIRCAS) 水産領域 主任研究員
宇賀 優作	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構(NARO) 次世代作物開発研究センター 基盤研究領域 育種素材開発ユニット 上級研究員
唐木 英明	(公財)食の安全・安心財団 理事長 東京大学 名誉教授
赤阪 清隆	(公財)フォーリン・プレスセンター 理事長
石井 勇人	(一社)共同通信社 編集委員兼論説委員 農政ジャーナリストの会 会長
今野 正義	日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO
柴田 明夫	(株)資源・食料問題研究所 代表取締役
生源寺 真一	福島大学農業系教育研究組織 設置準備事務局 室長 / 教授
西澤 直子	石川県立大学生物資源工学研究所 教授 東京大学 名誉教授
引野 肇	日本科学技術ジャーナリスト会議 理事
平山 征夫	新潟国際情報大学 学長

(順不同)

# 公益財団法人 食の新潟国際賞財団 賛助会員(平成29年度)

## ● 特別会員

亀田製菓(株)  
(学)新潟総合学園  
佐藤食品工業(株)  
新潟県農業協同組合中央会  
(株)栗山米菓  
(株)新宣  
亀田商工会議所  
(株)電通東日本新潟支社  
NST新潟総合テレビ  
三菱商事(株)新潟支店

(株)ブルボン  
一正蒲鉾(株)  
(株)第四銀行  
亀田郷土地改良区  
(株)新潟日報社  
(株)エイケイ  
(株)新潟クボタ  
にいがた22の会  
(株)日本食糧新聞社  
ホテル日航新潟

## ● 正会員

新潟市農業協同組合  
新潟県信用組合  
(株)第一印刷所  
(株)本間組  
石本酒造(株)  
(株)ミカサ  
神山物産(株)  
丸七商事(株)  
ハセガワ化成工業(株)  
大東産業(株)  
藤屋段ボール(株)  
(株)タケショー  
(株)新潟博報堂  
BSN新潟放送  
新潟陸運(株)  
(株)新潟食品運輸  
山崎醸造(株)  
月島食品工業(株)  
(株)フジテレビジョン  
日本製粉(株)関東支店  
日本甜菜製糖(株)  
(株)鳥梅

(株)山由製作所  
新潟工科大学産学交流会  
(株)キタック  
北越工業(株)  
丸榮製粉(株)  
新潟万代島総合企画(株)  
鍋林(株)ヘルスフーズ事業部  
(株)鈴木コーヒー  
TeNYテレビ新潟放送網  
(株)栗田工務店  
三和薬品(株)  
松田産業(株)  
セツカートン(株)新潟工場  
(株)藤井商店  
日本精機(株)  
東邦産業(株)  
麒麟山酒造(株)  
(株)加島屋  
(株)日本フードリンク  
(株)アド・メディック  
UX新潟テレビ21

## ● 個人会員

藤島 安之  
大越 斎  
和田 充彦  
古泉 肇  
五十嵐 豊  
佐藤 銀治郎

宇野 勝雄  
新保 房機  
栗田 浩  
尾山 宏輔  
久保田 紳一  
和澄 孝男

塚本 太一  
牧 利幸  
井田 増夫  
高橋 常孝  
古泉 榮三

(順不同)

## 食の新潟応援団(賛助会)募集中!

食を通じて飢餓や貧困などに苦しむ世界の現状に目を向けると、日本にいる私たちにも食の危機が及びつつあり、世界の人々の命が一つにつながっていることがわかります。

食と私たちの命を守る本財団の事業に賛同し応援して下さる皆様を募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。 [ホームページ http://www.niigata-award.jp/contents/support/index.html](http://www.niigata-award.jp/contents/support/index.html)